

チームで 立ち向かう

病气やケガで病院に行ったとき、もし心細く感じたら、まわりを見まわしてみてください。きっとそこにはたくさんの方の医療スタッフがいます。あなたやご家族とともに、最善の治療・ケアを目指して力を合わせてくれる心強いチームメイトです。



患者さん・ご家族とともに / 病気に向き合う チーム医療



医療現場では、医師をはじめ、看護師や薬剤師、理学療法士、臨床工学技士、ソーシャルワーカーなど、たくさんの方のスタッフが働いています。それらのスタッフが連携して医療を行うのが「チーム医療」。病气・ケガの治療はもちろん、通院・入院中や退院後など療養中のQOL（生活の質）の維持・向上などを

「チーム医療」 みんなで力を合わせる

目指し、それぞれが専門性を活かして意見を出し合いながら、互いに協力しています。患者さんとご家族もチームの一員。医療のあらゆる場面で働く医療スタッフと患者さん・ご家族は、それぞれが自分の役割を真摯に果たし、一丸となって病气・ケガに立ち向かう、一つのチームなのです。

兵庫医科大学病院では、病棟などそれぞれの医療現場でチーム医療を実践していますが、それとは別に、診療科の垣根を越えて横断的に活動を行う医療チームを編成し、より質の高い医療に取り組んでいます。

栄養サポートチーム (NST)

病棟を回診して患者さんの病状や治療法、栄養状態などを把握し、それぞれの患者さんにもっともふさわしい栄養管理ができるようサポートを行っています。

構成メンバー

医師、看護師、認定看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、管理栄養士

精神科 リエゾンチーム

精神科の医師や専門看護師などのスタッフが病棟の看護師と連携し、不安などを抱えた入院中の患者さんやそのご家族の心のケアを行います。

褥瘡対策チーム

寝たきりの患者さんや車いすの患者さんなど長時間同じ姿勢でいると褥瘡(床ずれ)が発生します。褥瘡は治るのに時間がかかり、患者さんの日常生活に支障をきたすことがあるため、病棟の看護師と連携しその予防とケアをサポートしています。

構成メンバー

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、事務員

緩和ケアチーム

がんに向き合う患者さんとそのご家族を支えるチームです。がんによる痛みや倦怠感のほか、不安など心のつらさや療養中の生活のことなどについて、患者さんやご家族、病棟スタッフと一緒に考え、QOL(生活の質)の改善を目指します。

構成メンバー

医師(麻酔科・精神科神経科)、緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師、がん性疼痛看護認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師、薬剤師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、歯科衛生士



呼吸ケア および ラピッドレスポンスチーム (RRST)

定期的に病棟を巡回して、人工呼吸器を使用している患者さんや、疾患により呼吸が困難な患者さんのケアを行います。また、重症化する兆候がある場合は早期に対応します。

構成メンバー

医師(集中治療医)、集中ケア認定看護師、救急看護認定看護師、理学療法士、臨床工学技士、歯科衛生士、歯科医、急性・重症患者看護専門看護師



感染対策チーム (ICT)

病院内で起こるさまざまな感染症の予防と発生時の対応を行うチームです。ASTと連携をとり、薬剤耐性菌の伝播を防ぎます。

構成メンバー

看護師、医師、臨床検査技師、薬剤師

新設

院内排尿ケアチーム

尿道カテーテル抜去後に、尿失禁、尿閉などの排尿自立障害がみられる患者さんをサポートします。チームは医師、認定看護師、理学療法士などで構成され、病棟の看護師と連携しながら活動しています。

構成メンバー

医師(泌尿器科)、認定看護師、理学療法士、作業療法士



新設

認知症ケアチーム

認知症がみられる患者さんが、身体疾患の治療を円滑に受けることができるよう、カンファレンスや病棟の巡回、研修などを通して、患者さんご家族、スタッフをサポートしています。

構成メンバー

医師(脳神経内科、精神科神経科)、看護師、精神保健福祉士



新設

抗菌薬適正使用支援チーム (AST)

感染症の治療の効果を上げ、耐性菌を減らすことを目的に、抗菌薬適正使用を支援します。

構成メンバー

医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師

周術期管理チーム

患者さんに、より安心してスムーズに手術を受けていただけるよう、患者さんの状態などを把握して手術中とその前後の期間の管理・サポートを行うチームです。

構成メンバー

医師(麻酔科・疼痛制御科、集中治療部、歯科口腔外科)、看護師(手術センター、感染制御部、禁煙外来)、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、事務員

エコーガイド下CVC 挿入推進チーム

より安全な治療を目指し、エコー(超音波)ガイド下中心静脈穿刺法の技術向上のための取り組みなどを推進するチームです。

救命処置 (BLS・ALS) 推進チーム

院内急変時に病院の全職員が対応できるよう、1次救命処置(BLS)および2次救命処置(ALS)の普及活動、指導を行っています。

